

平成 27 年 10 月 13 日

各 位

提 出 会 社 名 株式会社 T&C ホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役 田中茂樹
 (コード番号 3832)
 問 合 せ 先 取締役 松本貞子
 (TEL, 03-5443-7489)

連結業績予想と実績の差異及び営業外収益、営業外費用並びに
 特別利益、特別損失の発生に関するお知らせ

平成 27 年 7 月 13 日に公表した平成 27 年 11 月期第 3 四半期（累計）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。また、営業外収益、営業外費用及び特別利益、特別損失が発生しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成27年11月期第3四半期（平成26年12月1日～平成27年8月31日）の連結業績予想と実績の差異

(単位：百万円, %)

	売上高	営業利益
前 回 発 表 予 想 (A)	651	△122
実 績 (B)	290	△346
増 減 額 (B - A)	△ 360	△223
増 減 率 (%)	△55.3	—
(ご 参 考) 前 年 同 期 実 績 (平成26年11月期第3四半期))	431	△271

2. 連結業績予想と実績の差異の理由

平成 27 年 11 月期第 3 四半期累計期間における連結売上高は、予想に対して 360 百万円の減収となり、全事業セグメントにおいて未達となりました。この売上高の未達に伴い、連結営業損失は 346 百万円となり、連結売上高、連結営業利益とも前回発表の予想値を下回りました。各セグメントの差異は次のとおりです。

ETF 関連事業においては、売上高予想 205 百万円、営業利益予想 74 百万円のところ、売上高実績 63 百万円、営業利益実績△81 百万円となりました。これは第 3 四半期中に見込んで

いた新規取引先との契約が成約に至らなかったことによります。

金融アドバイザリー事業においては、売上高予想 21 百万円、営業利益予想△40 百万円のところ、売上高実績 3 百万円、営業利益実績△54 百万円となりました。アドバイザリー業務の成功報酬を見込んでいましたが、当該業務は継続中であり当第 3 四半期中の売上計上に至りませんでした。

医療関連事業においては、売上高予想 423 百万円、営業利益予想△158 百万円のところ、売上高実績 222 百万円、営業利益実績△65 百万円となりました。これは海外提携先への商品売上を見込んでいたものの、商品の輸送方法等を検討しているところであり、当第 3 四半期中に納品できなかったことから売上計上に至りませんでした。

3. 営業外収益について

為替相場の変動により、当第 3 四半期連結累計期間において為替差益 16 百万円を営業外収益に計上します。なお、通期の為替差損益の額については、今後の為替相場の動向により変動します。

4. 営業外費用について

(1) 当第 3 四半期連結累計期間において、返済期日を経過した借入金 43 百万円にかかる遅延損害金 5 百万円を計上します。当該借入金の返済については、当社の資金繰りを勘案し、弁護士を通して対応しております。

(2) 当第 3 四半期連結累計期間において、取引先である医療法人社団コスモフィールドに対する貸付金、貸付利息及び不動産賃貸料等について、貸倒引当金繰入額 512 百万円を計上します。上記借入金がある一方で、当第 3 四半期連結会計期間において 36 百万円の追加貸付をおこないました。当社は同法人を再生医療ビジネスの重要な拠点として据え、再生医療ビジネスを当社グループの中核事業に育成すべく位置付けているため同法人に対し手厚い資金支援及び事業用不動産の貸与を行っているものです。中長期的観点から再生医療ビジネスを核とし当社グループの医療関連事業拡大による収益化を見込んでいるためであります。しかしながら、当第 3 四半期末時点における同法人の今後の事業計画に鑑みて、監査法人と協議した結果、第 2 四半期末に続き貸倒引当金繰入額を計上します。なお、同法人にかかる売掛金に対する貸倒引当金繰入額は販売費及び一般管理費に計上しております。

5. 特別利益について

当第 3 四半期連結累計期間において、自己都合退職従業員 1 名の退職金受取の辞退により退職給付に係る負債戻入額 5 百万円を計上します。

6. 特別損失について

平成 27 年 6 月 11 日付「海外子会社の解散及び清算並びに特別損失の発生に関するお知らせ」にて開示のとおり、当第 3 四半期連結累計期間において、T&C Pictures, Inc. の清算に伴う関係会社整理損 29 百万円を計上します。これは、海外子会社を連結除外するにあたり為替換算調整勘定が顕在化したことによるものです。

7. 業績に与える影響

上記は、本日（平成 27 年 10 月 13 日）公表の「平成 27 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上